

(別紙5)

調査報告書

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日	平成 21年 3月 12日
調査実施の時間	開始 10時00分 ～ 終了15時00分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム郷の家 福島県
-------------------	-------------------

評価調査員の氏名	氏 名 熊谷まゆみ 氏 名 鹿島丈夫
事業所側対応者	職 名 管理者 氏 名 玉川律子 ヒアリングを行った職員数 (2)人

※記入方法
●「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
●「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。
※項目番号について
●外部評価項目は30項目です。
○「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
○「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。
※用語について
●家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。 (他に「家族」に限定する項目がある)
●運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
●職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
●チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 3月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0792300014
法人名	医療法人正生会
事業所名	グループホーム郷の家
所在地	福島県南会津郡下郷町塩生字夕原1313-1 (電話) 0241-67-3013
評価機関名	会津医療生活協同組合
所在地	福島県会津若松市東千石一丁目2-13
訪問調査日	平成21年3月12日

【情報提供票より】 (21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	7 人	常勤 7 人, 非常勤	人, 常勤換算 5. 3

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2 階建ての	1 と2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	34,500円		その他の経費(月額)	円	
敷金	有（円）○無				
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（30000円） 無		有りの場合 償却の有無		有／無
食材料費	朝食	300円	昼食	300円	
	夕食	300円	おやつ	円	
	または1日当たり円				

(4) 利用者の概要 (2月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4	要介護2	4		
要介護3	9	要介護4	1		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 86.4 歳	最低 73 歳	最高 96 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 正生会 佐藤医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設されて丸3年のホームであるが利用者と地域の交流が日常的に行われ地域に根ざした運営がされている。職員は話し合いを重ねチームワークもよく質の向上に前向きに取り組んでいる。今後は他のグループホームとの交流も計画し視野の広い活動を期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	改善目標、期間、評価の項目がある改善計画シートを作り職員で話し合い具体的な改善につなげている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
重点項目②	職員が集まれる時間を利用して、すべての項目を話し合いながら評価に取り組んだ。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5)
重点項目③	管理者はホームの活動を丁寧に報告し、それについての建設的な意見が委員から述べられている。ボランティアの紹介や夏祭りの手伝いの申し出などもあり運営推進会議が運営に活かされている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
重点項目④	電話や面会時に家族から意見や要望を引き出している。運営推進会議では家族も発言し、その後のケアに活かされている。
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

2. 調 査 報 告 書

主調査員氏名 熊谷まゆみ / 同行調査員氏名 鹿島丈夫

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの役割を全職員で勉強会をやり「住み慣れた地域での安心した『なじみ』のある生活を支え、その人らしく暮らしていけるよう、いつも優しくいつも笑顔で入居者や家族の願いを支援して行きます」の理念を作り上げた。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすいところに掲示し朝礼時に唱和している。月2回の定例会で日常のケアを振り返りながら理念に基づいた月ごとの介護目標もつくり実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	防災無線がホーム内に流れ地域の情報が入手されている。小学校の行事に招かれたり町内の文化祭にも参加している。地域のサークルや小中学生のボランティアもあり地域との交流が日常的に行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	お昼休みなど職員が集まれる時間を利用して職員全員で話しあって自己評価している。改善項目については改善計画を作り改善につなげている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に2ヶ月に1回開催されている。職員からはホームの活動を丁寧に報告し、委員からは運営に関する具体的な提案がだされるなど活発な意見交換がされサービスの向上に活かされている。		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の過ごしかたを毎日書き綴った『生活の様子』と預かり金の金銭報告を毎月行っている。季刊で写真入の『郷の家』便りも家族に届けている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の議事録を会議に出席しない家族にも届けて欲しいなど、運営に関する意見も出され改善につなげている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	他事業所への異動はなく基本的に職員は固定化している。離職者に代わる新しい職員については利用者の情報を伝え、従来とケアの仕方が変わることないように早く利用者となじめよう工夫している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新しい職員は新入職員対象の外部研修会に参加させている。月2回の定例会時などで内部研修を行っているほか外部の研修会にも希望者をつのり自主的な参加を働きかけている。研修内容を職員会議で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会には参加していない。	○	グループホーム連絡協議会に入会し同業者間の情報交換や交流会を行い視野を広げ更なるケアの質の向上に活かして欲しい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として畑仕事、料理の味付け、調理など生活のあらゆる場面で利用者に教えてもらうことが多い。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「私が言ったこと」「家族が言ったこと」などや気づきをそのつど記録する欄が介護日誌に設けられていて、思いや意向を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	家族や本人の要望や職員の気づきなどをそのつどこまめにカンファレンスで話しあい介護計画作成に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた評価し見直しをしている。状態に変化があった場合、家族や本人と一緒に話しあい状態にあった計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている（小規模多機能居宅介護）			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医が隣地にあり定期受診のほか利用者の変化や健康面で心配なときはそのつど相談できる。家族の付き添いで受診する際は情報提供し結果報告を受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人の関係者で「郷の家看取り指針」を作成し、全職員で内容について話し合い重度化や終末期の支援の仕方について理解している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄や歯磨きなどさりげない言葉掛けで支援していて誇りやプライバシーを損ねるような対応は見られなかった。個人ファイルは事務所に保管されていた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間もそれぞれで個々人のペースを大切に支援している。買い物や散歩など利用者の状態や想いに柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の収穫、食材の購入、調理、配膳、後片付けなど食事に関する一連の作業に利用者が職員と一緒に参加している。食卓は少人数で囲み家庭的であった。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を固定化せず利用者の希望する時間に入浴支援をしている。入浴を拒みがちな人には楽しく入浴してもらえよう工夫している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	畑仕事やしんごろう餅づくり、じゅうねんの調理、笹巻き、リビングの飾り付けづくりなど得意の分野で役割を発揮してもらえよう支援している。散歩や日光浴も日常的に行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	近所には散歩や買い物で出かけているがそれ以外の遠出の支援はしていない。ホーム専用の車もないためドライブなど支援しにくい。	○	小旅行やドライブなど日常とは違う外出支援をしてほしい。家族の協力を得られない利用者の個別外出支援をどうするか話し合っ欲しい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中施錠していない。外出しそうな気配を感じたら職員と一緒についていくなど閉ざされない生活を保障している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練のマニュアルを作成し消防署の参加も得て年2回実施している。夜間想定も行っている。災害用の布団や毛布もある。避難経路の除雪も意識されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を毎食記録している。栄養士の職員がおり栄養バランスを配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングやトイレ、浴室、玄関など異臭もなく清潔で光も穏やかで落ち着いた雰囲気であった。リビングにはソファや炬燵が置かれ思い思いに過ごせるようになっていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居する際に普段使っているものの持込みをパンフレットに明記し働きかけている。位牌や遺影など持ち込んでいる人や、あまり持ち込まない人もいてさまざまである。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

グループホーム 郷の家

記入担当者名 管理者 玉川 律子

評価結果に対する事業所の意見
なし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について
意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。